



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 株式会社マルイチ産商

上場取引所 名

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤沢 政俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画・管理部門 (氏名) 白井 幸男

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,664	0.2	△46	—	64	△67.7	17	△81.6
25年3月期第1四半期	38,595	6.5	89	—	199	589.7	93	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 51百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.75	—
25年3月期第1四半期	4.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	43,436	17,473	39.7
25年3月期	41,764	17,560	41.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,237百万円 25年3月期 17,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	6.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.00	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,700	1.0	380	0.9	590	0.6	330	2.7	14.31
通期	162,000	1.4	1,000	9.9	1,350	2.1	650	6.9	28.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	23,121,000 株	25年3月期	23,121,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	65,841 株	25年3月期	65,841 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	23,055,159 株	25年3月期1Q	23,055,358 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済・金融政策への期待感から明るい兆しが見え始めた一方で、中国経済の成長鈍化、急激な円安や原材料価格の高騰に対する懸念などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しております。食品流通業界におきましては、消費者の生活防衛意識や節約志向の継続を背景に、企業間での価格競争が激化するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは今年度を中期経営計画「Cキューブ - 2013」の「仕上げ」と、次期からの新中期経営計画に向けた「助走」期間と位置づけ、戦略課題に取り組んでおります。

売上拡大に向けましては、当社グループの強みであります商品の調達力・開発力と、生鮮基軸の地域密着型フルライン機能を活かし、新規顧客開拓と既存顧客の深耕化を進めました。一方、コスト競争力向上による持続的成長を目指し、ITの活用による営業・事務・物流業務効率化と、全体最適を追求したロジスティクス基盤の構築に取り組んでおります。

以上のことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は、386億64百万円（前年同期比0.2%増）となりました。利益面につきましては、急激な相場変動の影響や、物量の増加に伴うコスト上昇等により、営業損失46百万円（前年同期は89百万円の営業利益）、経常利益64百万円（前年同期比67.7%減）、四半期純利益17百万円（同81.6%減）となりました。

[セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高 269億35百万円（前年同期比0.1%増）
営業損失 59百万円（前年同期は10百万円の営業利益）

売上高につきましては、大衆魚（あじ、いか、いわしなど）や養殖ぶり・かんぱちの売上が好調に推移したことに加え、フードサービス事業におけるフルライン機能を活かした外食・中食分野への販路拡大により、前年同期に対して33百万円の増収となりました。

営業損益につきましては、急激な円安に伴う輸入水産物の相場価格の上昇や、物量増加に伴う販売運賃の増加等により、前年同期に対して69百万円の減益となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高 60億61百万円（前年同期比6.0%減）
営業損失 29百万円（前年同期は11百万円の営業損失）

売上高につきましては、地域小売業への付加価値提案営業の推進による取引拡大と、信州産原材料を使用した当社開発商品の拡売を進めましたが、大手小売業の仕入調達ルート変更の影響もあり、前年同期に対して3億85百万円の減収となりました。

営業損益につきましては、店頭での低価格競争の影響により販売価格が低下し、管理費等のコスト削減に努めたものの、前年同期に対して18百万円の減益となりました。

<畜産事業セグメント>

売上高 55億8百万円（前年同期比7.5%増）
営業利益 44百万円（前年同期比36.5%減）

売上高につきましては、国産牛の枝肉価格の高騰や、円安による輸入品の値上げという相場状況の中、「りんご和牛信州牛」「信州豚豚」などの当社オリジナル開発商品の販売が順調に推移したことから、前年同期に対して3億84百万円の増収となりました。

営業損益につきましては、売上高の拡大により売上総利益額が増加したものの、物量増加に伴うコストを賄いきれず、前年同期に対して25百万円の減益となりました。

＜その他（小売店の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）＞
売上高 1億58百万円（前年同期比29.8%増）
営業損失 2百万円（前年同期は19百万円の営業利益）

子会社でありますA E S(株)による小売店の店舗支援事業と、同マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)による物流・冷蔵倉庫事業について、グループ内の各事業との組織的な連携強化を進め、売上高は、前年同期に対して36百万円の増収となりました。一方、営業損益につきましては、前年同期に対して22百万円の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は434億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億72百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が2億6百万円、受取手形及び売掛金が1億40百万円、商品及び製品が11億62百万円、投資その他の資産合計が2億42百万円増加したことによります。

負債は259億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億59百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が19億93百万円、流動負債その他が3億72百万円増加する一方で、未払法人税等が3億30百万円、賞与引当金が2億39百万円減少したことによります。

純資産合計は174億73百万円となり、前連結会計年度末と比較して87百万円の減少となりました。
この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の41.5%から39.7%に減少しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,534	6,740
受取手形及び売掛金	15,107	15,248
商品及び製品	2,365	3,528
仕掛品	5	6
原材料及び貯蔵品	67	79
その他	2,164	2,104
貸倒引当金	△133	△129
流動資産合計	26,111	27,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,634	3,576
土地	7,639	7,639
その他（純額）	736	776
有形固定資産合計	12,010	11,992
無形固定資産		
のれん	323	301
その他	200	202
無形固定資産合計	524	504
投資その他の資産		
投資有価証券	2,123	2,160
その他	1,103	1,308
貸倒引当金	△108	△108
投資その他の資産合計	3,118	3,360
固定資産合計	15,653	15,857
資産合計	41,764	43,436
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,823	19,816
短期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	431	101
賞与引当金	481	241
その他	2,218	2,590
流動負債合計	22,454	24,250
固定負債		
退職給付引当金	652	622
役員退職慰労引当金	228	197
債務保証損失引当金	90	90
資産除去債務	78	78
その他	701	724
固定負債合計	1,750	1,713
負債合計	24,204	25,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	10,129	10,008
自己株式	△53	△53
株主資本合計	17,175	17,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159	182
その他の包括利益累計額合計	159	182
少数株主持分	224	235
純資産合計	17,560	17,473
負債純資産合計	41,764	43,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	38,595	38,664
売上原価	34,935	35,032
売上総利益	3,660	3,631
販売費及び一般管理費	3,570	3,678
営業利益又は営業損失(△)	89	△46
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	40	39
受取賃貸料	42	43
その他	35	33
営業外収益合計	118	116
営業外費用		
支払利息	2	2
固定資産除却損	2	0
貸倒引当金繰入額	1	0
その他	1	2
営業外費用合計	8	4
経常利益	199	64
税金等調整前四半期純利益	199	64
法人税、住民税及び事業税	152	91
法人税等調整額	△50	△55
法人税等合計	102	36
少数株主損益調整前四半期純利益	97	28
少数株主利益	3	11
四半期純利益	93	17

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	23
その他の包括利益合計	△98	23
四半期包括利益	△0	51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4	40
少数株主に係る四半期包括利益	3	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,901	6,446	5,124	38,473	122	38,595	—	38,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	737	737	△737	—
計	26,901	6,447	5,124	38,473	859	39,332	△737	38,595
セグメント利益 又は損失(△)	10	△11	70	69	19	89	—	89

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,935	6,061	5,508	38,505	158	38,664	—	38,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	843	844	△844	—
計	26,935	6,062	5,508	38,506	1,001	39,508	△844	38,664
セグメント利益 又は損失(△)	△59	△29	44	△44	△2	△46	—	△46

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。